

1. 科目名 (単位数)	児童・家庭福祉論Ⅱ (2単位)		3. 科目番号	SSMP2303 SNMP2303 SCMP2303 SBMP2303 SPMP2303 SJMP3101
2. 授業担当教員	上田 征三			
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、演習、プレゼンテーションなどを取り入れた形態を重視する。	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・他科目との関係	2年以上			
7. 講義概要	急速に進む少子高齢社会に対応した児童や家庭に対する支援と今後の児童・家庭福祉のあり方について、児童・家庭福祉論で学んだ、子ども家庭福祉の原理、理念、権利保障、子ども家庭福祉にかかわる法制度、福祉・保健施策、子ども家庭への援助活動などを復習した上で、児童・家庭福祉論Ⅱでは、子ども家庭にかかわる福祉・保健政策について、とりわけ子どもの貧困など、グループでテーマを設定した上で、学習を進め、成果を発表する。併せて、社会福祉士国家試験に対応できる授業内容とする。授業の進め方は、授業開始時に分けたグループでの研究が基本となる。また、学生が授業運営に参画する度合いを増やす。			
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢社会における子どもや家庭に対する支援の必要性、児童家庭福祉の制度の全体像を理解し、説明ができる。 ・グループでの研究を通じて、文献の読み方、資料の集め方、調査の方法を理解し、活用できるようにする。 ・グループでの研究を通じて、研究の目的、方法、結論、考察をいった手順を活用できるようにする。 ・グループでの発表を通じてプレゼンテーションの方法を身につける。 ・その他、文章の要約方法、社会に出た時に活用できる発想法や分析方法、スピーチ・プレゼンテーションなど具体的手法、スキルを授業の中で身につける。 			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容に沿った小テストを13回実施 (到達度評価) する。 2. 到達度に至るまで小テストを実施し、未達成者にはレポート (手書き) を課す。 3. 小テストや配付プリントが閉じられるようなノート兼用のバインダーを必ず準備する。 4. 予習時、授業時、復習時でアンダーラインを引き書き込みをするペンの色を使い分ける事を勧める。 			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】特に必要としない。</p> <p>【参考書】</p> <p>一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 『最新社会福祉士養成講座 3 児童・家庭福祉』 中央法規出版、2021年。 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 少子高齢社会における子どもや家庭に対する支援の必要性、児童家庭福祉の制度の全体像を理解し、説明ができる。 2. グループでの研究を通じて、研究のスタイルを理解し、活用することができる。 3. 発想法や分析方法、スピーチ・プレゼンテーションなど具体的手法、スキルを授業の中で身につけ、活用することができる。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業への積極的参加 (調査・ディスカッション・発表) 総合点の40% 2. 日常の学習状況 (小テスト・小レポート・学外調査・提出物) 総合点の30% 3. 課題レポート 総合点の30% 			
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業中に携帯、私語、居眠り、飲食などをしないこと。 2. 教室を散らかしたり机を汚したりしないこと。 3. マナーを守り、大学生としての学習体制を確立すること。 			
13. オフィスアワー	授業以外の時間 (予約をお願いすることもある)			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容		学習課題	
第1回	オリエンテーション、授業の進め方についての説明		事前学習	シラバスに目を通し、講義概要、学習目標等について理解を深めておく。講義用のノートと資料を綴じるファイルを用意する。
			事後学習	オリエンテーションで説明された内容を確認しておく。配布された資料をファイルに綴じる。
第2回	少子高齢社会と次世代育成支援について 事例研究 グループで研究分野を検討		事前学習	教科書の第1章「現代社会と子ども家庭」で学んだところを復習し、児童家庭福祉に関連する事例について用意しておく
			事後学習	事例研究を復習するとともに、グループで検討する研究分野を準備しておく。
第3回	現代社会と子ども家庭の問題 事例研究 グループで研究テーマを検討		事前学習	子どもをめぐる問題について、自己の体験を基に整理しておく。子どもの発達について理解を確認しておく。
			事後学習	事例研究を復習するとともに、グループで検討するテーマを準備しておく。

第4回	子どもの育ち、子育てのニーズ 事例研究 グループで研究テーマについて決定	事前学習	子どもの発達的特徴から生まれるニーズについて理解を深めておく。児童家庭福祉論で学んだ資料を読み直しておく。
		事後学習	事例研究を復習するとともに、グループで決定したテーマについて関係する資料を集めておく。
第5回	児童の権利に関する条約 条項の検討 グループで研究テーマについて発表	事前学習	児童の権利に関する条約について事前に学習し、大学生活における“権利”の具体化について考察する。 グループでの発表の準備に備える。
		事後学習	児童の権利に関する条約について、各条項の意味について確認をしておく。グループでの研究について準備を進める。
第6回	グループでの交流及び討議	事前学習	グループでの発表と意見交換に備えて、グループで資料を準備し、確認を取っておく。
		事後学習	各グループでの発表を整理してまとめておく。他のグループとの違いについてノートにまとめておく。他のグループから学んだこともメモしておく。
第7回	事例研究① 情報のまとめ方 グループによる学習・調査・発表 (児童福祉法、母子保健、保育、障害・難病、健全育成、子育て支援、ひとり親家庭、児童の社会的養護サービス、非行・情緒障害、児童虐待対策、子どもへの相談援助活動)	事前学習	各グループが発表に向けて、情報収集とまとめを行い、資料作りをする。施設訪問をする場合は、事前のアポをきちんと取る。
		事後学習	事例研究と情報のまとめ方について復習をする。また各グループでの発表についてコメントをノートに記しておく。
第8回	事例研究② 情報の構造化 マインドマップの学習 グループによる学習・調査・発表 (児童福祉法、母子保健、保育、障害・難病、健全育成、子育て支援、ひとり親家庭、児童の社会的養護サービス、非行・情緒障害、児童虐待対策、子どもへの相談援助活動)	事前学習	各グループが発表に向けて、情報収集とまとめを行い、資料作りをする。施設訪問をする場合は、事前のアポをきちんと取る。
		事後学習	事例研究と情報の構造化、マインドマップについて復習をする。実際にマインドマップを作り、学習に生かせるようにする。また各グループでの発表についてコメントをノートに記しておく。
第9回	事例研究③ プレゼンテーションの方法 グループによる学習・調査・発表 (児童福祉法、母子保健、保育、障害・難病、健全育成、子育て支援、ひとり親家庭、児童の社会的養護サービス、非行・情緒障害、児童虐待対策、子どもへの相談援助活動)	事前学習	各グループが発表に向けて、情報収集とまとめを行い、資料作りをする。施設訪問をする場合は、事前のアポをきちんと取る。
		事後学習	事例研究とプレゼンテーションの方法について復習する。実際にパワーポイントを作成して、自宅で練習をしてみる。また各グループでの発表についてコメントをノートに記しておく。
第10回	事例研究④ 3分間スピーチ グループによる学習・調査・発表 (児童福祉法、母子保健、保育、障害・難病、健全育成、子育て支援、ひとり親家庭、児童の社会的養護サービス、非行・情緒障害、児童虐待対策、子どもへの相談援助活動)	事前学習	各グループが発表に向けて、情報収集とまとめを行い、資料作りをする。施設訪問をする場合は、事前のアポをきちんと取る。3分間スピーチの原稿を作成し、練習をしておく。
		事後学習	事例研究とプレゼンテーションの方法について復習する。3分間スピーチの内容を分析しておく。また各グループでの発表についてコメントをノートに記しておく。
第11回	事例研究⑤ レポートの書き方 確認 グループによる学習・調査・発表 (児童福祉法、母子保健、保育、障害・難病、健全育成、子育て支援、ひとり親家庭、児童の社会的養護サービス、非行・情緒障害、児童虐待対策、子どもへの相談援助活動)	事前学習	各グループが発表に向けて、情報収集とまとめを行い、資料作りをする。施設訪問をする場合は、事前のアポをきちんと取る。レポートの書き方について2年生の時の復習を行う。
		事後学習	事例研究とレポートの書き方を復習する。実際に1000字のレポートを作成してみる。また各グループでの発表についてコメントをノートに記しておく。
第12回	事例研究⑥ 授業論集の作成準備 グループによる学習・調査・発表 (児童福祉法、母子保健、保育、障害・難病、健全育成、子育て支援、ひとり親家庭、児童の社会的養護サービス、非行・情緒障害、児童虐待対策、子どもへの相談援助活動)	事前学習	各グループが発表に向けて、情報収集とまとめを行い、資料作りをする。施設訪問をする場合は、事前のアポをきちんと取る。授業論集の作成にむけて各グループの意見をまとめておく。
		事後学習	事例研究について復習する。授業論集の原稿作成を開始する。また各グループでの発表についてコメントをノートに記しておく。

第13回	事例研究⑦ 最終発表 グループによる学習・調査・発表 (児童福祉法、母子保健、保育、障害・難病、健全育成、子育て支援、ひとり親家庭、児童の社会的養護サービス、非行・情緒障害、児童虐待対策、子どもへの相談援助活動)	事前学習	各グループが発表に向けて、情報収集とまとめを行い、資料作りをする。施設訪問をする場合は、事前のアポをきちんと取る。最終発表にむけて意見を準備しておく。
		事後学習	各グループが発表した内容を整理して、知識を確認しておく。翌週の授業で全体討議する内容をまとめておく。
第14回	グループによる研究授業論集の作成	事前学習	課題レポートとは別に授業論集の原稿を作成しておく。
		事後学習	授業論集を読み、授業全体で学んだことを確認する。 特に、グループで作業した内容については、今後に生かせるように分析を加えておく。
第15回	まとめ	事前学習	これまで学習してきたことを振り返り、最後のまとめの討議に備える。
		事後学習	講義内容、発表内容を整理して、ノートにまとめ、資料はすべてファイリングしておく。